

令和 8 年度

災害対応特殊自動車（支援車）仕様書

見 附 市

# 支援車仕様書

## 第 1 総則

### 1 目的

この仕様書は、見附市消防本部（以下「甲」という。）が、令和 8 年度に購入する消防資機材搬送車（以下「支援車」という。）の仕様について必要な事項を定める。

### 2 適合法令等

支援車の作成は、仕様書及び承認図書による他、次に掲げる法令に適合し、緊急自動車として承認を得られるものとする。

- (1) 道路運送車両法（昭和 26 年運輸省令第 185 号）
- (2) 道路運送車両の保安基準（昭和 26 年運輸省令第 67 号）
- (3) その他の関係法令

### 3 製作上の問題処理等

- (1) 仕様内容の解釈については甲の解釈に従うこと。
- (2) 仕様書に記載されていない詳細な事項等で疑義が生じたときは、受注者（以下「乙」という。）は甲の指示に従うこと。
- (3) 仕様内容に技術上の理由で仕様の変更が必要な場合は、甲と速やかに協議し、承認を得たあと施工すること。また、艤装変更に伴う費用は乙の負担とする。
- (4) 製作にあたり、工業所有権その他の法令等に抵触する等の問題が生じた場合は、乙において問題を解決し、その旨を甲に報告すること。
- (5) 車両の保管責任者は、甲の完成検査を受けるまでの間は、乙が負うものとする。

### 4 製作上の注意

車体は、緊急出動、各種消防活動に適した構造及び機能を有するもので、次のとおりとする。

- (1) 清掃、点検、調整及び修理が容易に行える構造とすること。
- (2) 使用取扱い上の安全性及び操作性を十分に考慮すること。
- (3) 車体全体の重量軽減を図り、前後左右の荷重バランスを十分考慮すること。
- (4) 堅牢にして、長期の使用に十分耐え得るものとする。
- (5) 車体本体、艤装材料、装備品、取付け品、取付け装置及び積載品等（無線機一式は除く）は、全て最新型で新規製品とする。また、同等品以上の性能を有する物品を主張する場合は、製作前に性能に関する資料を提出し、甲の承認を得ること。

### 5 無線機一式の取付け

無線機一式の取付けは、甲のデジタル無線設置工事施工業者が行う。

- (1) 実施業者は次の通りとする。

住所 新潟県長岡市西新町2丁目8番6号

名称 藤島無線工業株式会社

- (2) 無線機一式は、現支援車から取外し、使用するもの。なお、部品が不足する場合は調達すること。
- (3) 無線機一式を収納する基台等の取付けは、藤島無線工業が別途作成し、取付けるもの。
- (4) 取付け費用及び備品代は、契約金額に含むものとする。

## 6 登録手続き

支援車の新規登録（車庫証明及び緊急自動車登録を含む）は乙が納入前に完了するものとし、登録に要する費用は全て乙の負担とすること。ただし、自動車重量税及び自動車損害賠償保険料並びに自動車リサイクル料については、甲が負担する。

## 7 検査

各検査には、必ず検査員が立会い、甲からの指示事項、確認事項は書面を取り交すこと。

### (1) 中間検査

塗装後の甲が適当と判断する時期に、確認及び検査を受けること。また、甲から軽微な変更要請があった場合、乙はこれに応じること。

### (2) 完成検査

新規登録後に、甲が指定する日時及び場所で全ての検査を受けること。その結果、不備事項及び不合格と認めた場合は、甲が指定する日までに改修及び取替え等を行い、再度検査を受けること。なお、その場合に要する費用は乙の負担とする。

### (3) その他の検査

甲が必要と認めた場合は、協議のうえ検査を受けること。

## 8 保証期間

支援車の保証期間は、納車が終了した日から起算して1年間とし、保証の内容等は次のとおりとすること。

- (1) 設計不良、工作不良及び材質不良等に起因する故障、不具合等の場合は、保証期間経過後においても乙が無償で修理又は取替え等を実施すること。
- (2) 取付け品及び積載品等について、個々に各メーカーが定めた期間が1年以上の場合は、その定めた期間とすること。
- (3) 最初の3ヶ月法定点検は乙が無償で行うこととし、各部油脂類の交換、給油を実施すること。

## 9 納入

- (1) 新潟陸運局長岡陸運支局の新規登録を受けた後、必要書類を添えて各部の点検整備を実施のうえ、燃料タンクの燃料は満量とし納入する。

- (2) 納入場所は、見附市昭和町2丁目6番33号、見附市消防本部とする。
- (3) 納入期限は、令和9年3月31日とする。  
(原則納入期限は上記とするが、事業の内容上、完成次第納入とする。)

## 10 取扱い説明

乙は、支援車納入後、甲の指定する2日間以上の日程及び期間において担当者を派遣し、取扱い説明を行うこと。また、通常取扱説明書の他に重要ポイントを抜粋した簡易取扱説明書（アンプ操作等）を作成し、提出すること。なお、説明者派遣に対する一切の諸経費は乙が負担すること。

## 11 その他

- (1) 車両ナンバーは「401」とする。
- (2) 製造過程及び納入時等において、万一事故が発生した場合は、速やかに甲に連絡するとともに、その事故等について乙が一切の責任を負うものとする。

## 12 廃車手続き

現支援車の廃車に係る手続き等及び廃車処分は甲が行う。

## 13 補則

- (1) 乙は、本仕様書について、疑義又は変更せざるを得ない事項が生じた場合は、甲に速やかに連絡するとともに、綿密に協議し、甲の指示に従うこと。
- (2) 乙は、本仕様書に記載のないものについても当然必要なものは、良心的に作成すること。
- (3) 完成車は、北陸信越運輸局・新潟運輸支局長岡自動車検査登録事務所が行う新規登録検査を受けるものとし、それに伴う書類は事前に甲に提出し、承認を得ること。
- (4) 自動車保管場所証明書及び緊急自動車届出書の申請を代行し、代行手数料は乙が負担すること。
- (5) 乙は常に信義を重んじ、本仕様書に記した内容全般における疑義及び不備に関しては良心を持って協議し、変更を加え、これを解決すること。
- (6) 契約金額は、入札書に記載された金額に、消費税相当額、自賠責保険料及び自動車重量税の課税対象外の金額を合わせた金額とする。

## 第2 提出書類

### 1 承認図書

乙は、契約後速やかに甲と細部にわたり十分な打合せを行うものとし、打合わせ後、次の図書（A4版製本）を速やかに3部（1部返却）提出し、承認を受けること。

- (1) 製作工程表
- (2) シャシ関係図書
  - ア シャシ2面図（縮尺1／20）
  - イ 内装図
  - ウ 諸元明細書
- (3) 艀装外観5面図（前後面、両側面、上面、縮尺1／20）
- (4) その他甲が指示する図書

## 2 着手届

承認図書の承認を受けた後、着手届を1部提出し、着工すること。

## 3 進捗状況の報告

中間検査前及び甲が適当と判断する時期に、作製工程ごとの進捗状況を示す書類及び写真等を提出すること。

## 4 完成図書

納入前に次に掲げる図書（A4版製本）を2部提出すること。

- (1) 艀装関係完成図
- (2) 改造自動車等審査結果通知書の写し
- (3) 緊急自動車届出確認書の写し
- (4) 自動車車検証の写し
- (5) 整備要領書
- (6) 装備品等一覧表及び取扱い説明書並びに保証書
- (7) 取付け装置及び積載品の保証書
- (8) 電装配線系統図
- (9) 車両部品表
- (10) 納品書、納品明細書
- (11) その他、甲が指示するもの

## 5 写真等

次に掲げる写真（カラーEサイズ、A4版ファイルで製本）を、完成図書と併せて1部提出すること。また、写真データを保存したUSBメモリー1個を添付すること。

- (1) 完成車両（新規登録後でナンバー付）の前後左右及び斜め前後左右及び上部前方後方から撮影したもの。
- (2) 製作工程に基づくベースシャシから全塗装、艀装等の完成車までの状況を撮影したもの。
- (3) 塗装状況が確認できるもの。（工程ごと）
- (4) 付属品を撮影したもの。

- (5) その他、甲が指示するもの。

### 第3 車両仕様

#### 1 概要

車両は、令和8年度製造で最大積載量2トンのシングルキャブのトラックとし、ハイルーフ、ロングボディタイプの寒冷地仕様とする。荷台は、垂直昇降式テールゲートリフター（引き出しリフト）及びアルミバンとする。その他、機動性、耐久性を高めた走行安定性の良い緊急車両であるとともに、運転操作性、点検整備が容易な構造であり軽量的に艤装すること。取付け品、付属品等は安全確実に取付けでき、かつ、容易に取り外しができる堅固な構造であること。また、下記に記載されている以外の内容は、メーカー仕様とすること。

#### 2 シャシ主要諸元

(1) 車種等

- ア トラック
- イ 最大積載量 2 トン
- ウ シングルキャブ
- エ ハイルーフ
- オ ロングボディ
- カ 垂直昇降式テールゲートリフター付き（引き出しリフト）
- キ 寒冷地仕様

(2) エンジン ディーゼルエンジン

(3) 総排気量 3,000cc 以下

(4) 最高出力 110kW(150PS) 以上

(5) 駆動方式 四輪駆動方式

(6) 変速機 9速AT 以上

(7) 乗車定員 3 人

(8) 車体寸法

ア 全長 6,400 mm程度

イ 全幅 1,900 mm程度

ウ 全高 3,050 mm以下

エ 車庫内有効高 3,100mm

オ 床面地上高 970mm 程度

カ 荷台内寸法

（長さ/幅/高さ）4,500mm 程度×2,000mm 程度×2,100mm 程度（室内高さは別途協議）

(9) ヘッドライト LED（標準装備）

(10) フォグランプ LED（標準装備）

- (11) 先進運転支援システム（標準装備）
  - ア 車線逸脱警報
  - イ ふらつき警報
  - ウ 先行車発信お知らせ機能
  - エ 車間距離警報
  - オ プリクラッシュブレーキ（直進時）
  - カ ブラインドスポットモニター

### 3 装備品

- (1) スタッドレスタイヤ7本（ブリヂストン社製、ホイール付き、スペアタイヤ含む）
- (2) フロアマット（全席防汚型）
- (3) チェーン（ダブルタイヤ用）
- (4) GPS ナビゲーション（AM/FMラジオ付、地図更新可能型、TV 無し）
- (5) バックモニター
- (6) ドライブレコーダー（前後方）
- (7) インジケーター付きトラックソナー
- (8) サイドバイザー
- (9) 自動車用 ABC 粉末消火器（6 型以上）、専用格納 BOX 付
- (10) 100V コンセント（キャビン 1 箇所、荷台 2 箇所、詳細は別途協議）
- (11) バッテリー充電器配線取付（給電ケーブル 15m 付）
- (12) マグネット式外部電源取口
- (13) インバーター1500W
- (14) シャシメーカー固有工具一式
- (15) 樹脂製車輪止め
- (16) 三角停止表示板
- (17) コンソールボックス（ステンレス製、脱着式）
- (18) 泥除けレザー
- (19) 座席シート防汚カバー（全座席、予備含む）
- (20) 無線装置（現支援車から移設）
- (21) その他メーカー標準装備品及び機能上必要な物品

## 第4 艙装

### 1 材料等

- (1) 使用される材料は、耐食性に優れる材質、又は、必要に応じ防蝕処理が施されたものであり、難燃性の優れたもの及び経年劣化の少ない素材を適正に選定したものであること。
- (2) コーキング類は弾力性のある永年使用により硬化しないものを使用すること。

- (3) プラスチック類は、全て難燃性のものを使用すること。
- (4) ゴム製品は、全て耐油性の合成ゴムを使用すること。
- (5) 電気系統の配線は、十分な電流容量を有するもので、かつ、耐候性に優れたものであること。

## 2 車体艤装等

車体艤装等は次に定めることとするが、詳細については甲と十分協議すること。

- (1) 垂直昇降式テールゲートリフター（引き出しリフト）は、次の条件を満たしていること。
  - ア リフターの種類は、床下格納で引き出し式とすること。
  - イ リフト能力は、600 kg以上とする（有線リモコンスイッチ付き）。
  - ウ プレートの材質は、錆腐食に強いアルミニウム製とすること。
  - エ プレート寸法（長さ）は、1,100 mm程度とする。
  - オ プレートにサイドストッパーを取り付けること。
- (2) 荷台は、次の条件を満たしていること。
  - ア 外装は平板張りアルミバンとし、リアドアは2枚観音扉構造とすること。
  - イ リアドアには、90度開き止めストッパー簡易型（丸棒式）、270度開放時のストッパーを設けること。
  - ウ 金具、取手、丁番は防錆処理し、ステンレス仕上げとすること。
  - エ 床面材はアルミ縞鋼板張りとし、側面は床面から300mmの高さまでアルミ縞鋼張りとすること。
  - オ アルミバン左面（助手席側）に、幅1,000mmのワンタッチ式スライドドアを1枚設けること。（詳細位置は別途協議）
  - カ 床面に埋没式エアラインレールを設置すること。（設置位置、数量は別途協議）
  - キ アルミバン内側前面及び両側面に埋め込み式のラッシングレールを床面から500mm、1,000mm、1,500mmの高さに取り付けること。
  - ク 荷台内全域を照射できるLED灯を荷台上部及び左右に取り付けること。スイッチはキャビン内と荷台内からON/OFFできるものとする。（LED灯取付個数及び位置は別途協議）
  - ケ 荷台前面にベンチレーターを2基、後面に1基設けること。（詳細位置は別途協議）
  - コ 床面に4箇所水抜き穴を設け、水抜きホース振れ止めをそれぞれの穴に取り付けること。（詳細位置は別途協議）
  - サ キャビン内に、リアドア開閉警報ランプを設けること。（設置位置は別途協議）
- (3) 散光式警告灯等については、次の条件を満たしていること。
  - ア 車両キャブに取付ける散光式警光灯は、直接ボディにボルトオン固定し、ボルト固定部にシリコン製ワッシャー又は耐候性の高いコーキング処理を施すこと。なお、防風板（エアデフレクタ）と干渉する場合は、防風板（エアデフレクタ）の加工を施し干渉しない構造とすること。



- イ 車両前部に赤色点滅灯を左右一対で取付けること。(詳細位置は別途協議)
- ウ 荷台両側面及び荷台後部には、赤色点滅灯及び照明灯を左右一対で取付けること。(詳細位置は別途協議)
- エ マイク及び音声合成付き電子サイレンアンプは、運転席及び助手席から操作しやすい位置(コンソールボックス内等)に取り付けること。
- オ 散光式警光灯、電子サイレン及び赤色点滅灯のスイッチは、運転席及び助手席から操作しやすい位置とすること。なお、電子サイレンは、散光式警光灯及び赤色点滅灯と連動させること。
- カ フレキシブルマイクを運転席右側上部に設け、サイレンアンプと連動させること。
- (4) 標識灯  
標識灯は散光式警光灯と一体型とし、車両スモール灯と連動させること。なお、標識灯には黒文字丸ゴシック体で「見附市」(左書き)と記入すること。
- (5) バッテリー及びオルタネーター  
バッテリーは、点灯及び電装品を最大に使用した際においても、消費電力を十分に賄える容量を有するものとし、それを十分に賄える発電量を有するオルタネーターを備えること。
- (6) 消防章  
車両全面にクロムメッキ(基台付)の消防章を堅固に取付けること。
- (7) 消火器  
車両荷台下部に専用BOXを設けて強固に取り付けること。(詳細は別途協議)
- (8) 100Vコンセント  
キャブ室内に100Vコンセント1口、荷台内に100Vコンセント2口を設けること(詳細は別途協議)。
- (9) バックカメラ  
後退レンジと連動し、専用画面にモニターするバックカメラを備えること。
- (10) ドライブレコーダー  
ドライブレコーダーは前後監視タイプとし、全面はフロントガラス内側、中央上部付近の視認に支障がない位置に、後部カメラは荷台後面上部中央付近に強固に固定すること。
- (11) 無線設備配線  
乙は、甲が指定する無線設備設置業者(藤島無線工業株式会社)と綿密に打合せを行い、下記の配線を行うこと。
- ア 無線設備業者が指定する位置(車体ルーフ)に無線機アンテナの基台を取付け、無線設備設置業者が指定する位置まで同軸ケーブルを配線すること。
- イ 既設又は増設するヒューズボックスに、無線設備設置業者が指定する電源を出力すること。
- ウ その他、無線設備設置業者が指定する配線を行うとともに、あらかじめ車体に取り付ける必要がある架台、スピーカー等の取付けを行うこと。

エ 配線に用いる電線、同軸ケーブル等は、新規製品を用いること。

(14) 防水措置

配線等が車体を貫通する部分にはブッシングゴムを取付け、配線等は極力露出しない構造とし、配線端末の接続にはコネクター等を用いて行うこと。

(15) 車体側面のサイドバンパーは、ステンレス製とすること。

### 3 取付品及び付属品

別表 1 及び 2 のとおりとすること。

## 第 5 塗装等

### 1 塗装

- (1) 塗装及び文字の記入は、上質な材料を使用し、入念に仕上げること。
- (2) 塗装部分については、ボディ及びバンパー部並びにアルミバンとし、ドア回り及び開口部付近は、内装部を除く開口時に見える箇所全てに塗装すること。
- (3) 塗料は消防色（朱色）のウレタン塗料とすること。（詳細については別途協議）
- (4) 車両下回りは、防錆処理を施すこと。
- (5) タイヤホイールは、塗色しないものとする。
- (6) 保証期間内に塗装及びメッキ部分に変色、亀裂、剥離及び浮き上がり等が生じた場合は、再塗装、再メッキを施すこと。
- (7) 納車後の塗装補修のため、小分けにした補修用塗料を 2 缶用意すること。

### 2 文字の記入

- (1) 車両の左右両側ドアに、丸ゴシック体の白文字で、「見附市消防本部」と記入すること。
- (2) 車両アルミバン左右側面運転席側上部に、丸ゴシック体の白文字で「新潟県」と記入すること。
- (3) 車両アルミバン左右側面中央部に、ゴシック体の白文字で、「MITSUKE F. D.」と記入すること。
- (4) 車両アルミバン左右側面リアドア側下部に、丸ゴシック体の白文字で「資機材搬送車」と記入すること。
- (5) 車両アルミバン後面に、丸ゴシック体の白文字で、「新潟県」「見附市消防本部」と記入すること。
- (6) 車両のアルミバン上部に、丸ゴシック体の白文字で「見附」「支援」と横書き 2 段で記入すること。
- (7) 車両前部助手席側と車両後部アルミバン運転席側下部に、丸ゴシック体の白文字で「見附支援 1」と記入すること。
- (8) 文字の記入は全て左書きとすること。なお、文字の材質は反射シートとすること。
- (9) 再帰性に富んだ反射テープを車両外周に貼り付けること。

- (10) 文字の詳細な位置や大きさ等、反射テープ貼り付けについては、担当者と協議し決定すること。

**別表 1（取付品及び取付装置）**

No.	品 名	仕 様	数量
1	消防章	プラスチック製 Φ150	1 個
2	散光式赤色警告灯	大阪サイレン製作所製 NP-L-VK2M-C2	1 式
3	電子サイレンアンプ（マイク付き）	大阪サイレン製作所製 MK-01 TSK-D152	1 式
4	赤色点滅灯（前面）	大阪サイレン製作所製 LFA-200	2 個
5	赤色点滅灯（両側面）	大阪サイレン製作所製 LFA-200	4 個
6	赤色点滅灯（後面）	大阪サイレン製作所製 LFA-200	2 個
7	LED 照明灯（両側面）	大阪サイレン製作所製 LIA-200	4 個
8	LED 照明灯（後面）	大阪サイレン製作所製 LIA-200	2 個
9	ドライブレコーダー（前後方）	市光工業製 STR-300（バックモニター兼用）	1 式
10	インジケータ付きトラックソナー		1 式
11	マイクシステム	市光工業製 MS-200	1 式
12	カーナビゲーション	国産メーカー、TV 無し	1 式
13	垂直昇降式テールゲートリフター	床下格納タイプ、リフト能力 600Kg 以上	1 式
14	フォグランプ、ヘッドランプ（LED）	メーカー純正品	1 式
15	無線装置	現行支援車から移設	1 式
16	バックブザー	ON/OFF 切替スイッチ付	1 式
17	サイドバイザー	純正品	1 式
18	バッテリー充電器	マグネット式外部電源取口付き（配線 15m 含む）	1 式
19	インバーター	1500W（配線含む）	1 式
20	100V コンセント	キャブ室内 1 箇所、荷台内 2 カ所（協議）	1 式
21	テールランプ（LED）	小糸製作所製 流鏑馬（メッキ調レッド Ver.）	1 式
22	ETC	ETC2.0	1 式

23	車輪止め	樹脂製、運転席側側面収納付き	1 式
24	防錆塗装	車両下回り	1 式
25	サイドバンパー	表面ステンレス仕上げ、防錆加工	1 式
26	泥除けレザース	純正品	1 式
27	フレキシブルマイク	運転席右側上部に設置、アンプ連動	1 式
28	マップランプ	助手席側、フレキシブル LED	1 式
29	ベンチレーター	カバー付き（前面 2 基、後面 1 基）	3 基
30	座席シート防汚カバー	全座席（予備 1 組含む）	2 組

## 別表 2（付属品）

No.	品 名	仕 様	数量
1	フロアマット	全席防汚型	1 式
2	スタッドレスタイヤ	ブリヂストン社製、標準ホイール付	6 本
3	スペアタイヤ	ブリヂストン社製スタッドレスタイヤ、標準ホイール付（車両積載）	1 本
4	スノーワイパーブレード	2 本 1 組	1 組
5	自動車用 ABC 粉末消火器	ボックス（荷台下部取付型）付き、6 型以上	1 式
6	タイヤチェーン	ダブルタイヤ用	2 個
7	ダブルデッキシステム	脱着式	5 組
8	ラッシングバー		5 本
9	ラッシングベルト	ラチェット式、長さ変動式	10 本
10	フック	J 型、ラッシングレール装着使用	14 個
11	エアラインレール固定金具	クワドラ型	10 個
12	エアラインレール固定金具	O リング型	10 個
13	コンソールボックス	キャビン内設置（脱着式）、スチール製黒色塗装	1 式
14	かご台車	既製品	2 台
15	コンテナかご	特注品	4 台
16	コンテナ	コンテナかご収納サイズ品	10 個
17	収納ボックス	荷台下部取付け	1 個

18	非常信号用具	標準付属品（発煙筒）	1 式
19	三角停止表示板		1 基
20	自動車用工具	標準付属品	1 式
21	車両取扱説明書		1 冊